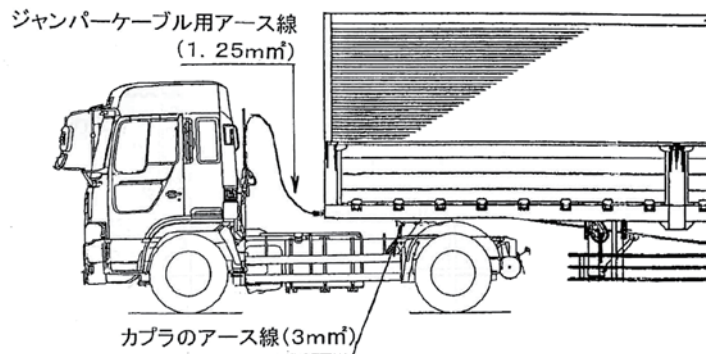


## 電源ケーブル接続にワニロクリップを使用した時の注意事項

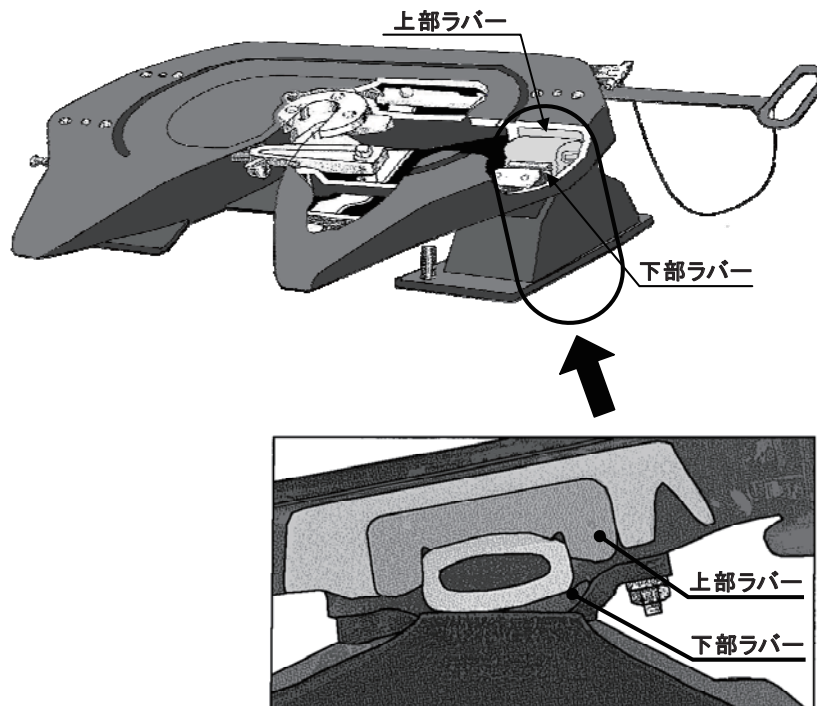
### 1.不具合内容

ウイングトレーラのウイング開閉用の電源ケーブルにワニロクリップ付電源ケーブルを使用している場合、ワニロが確実にクランプされず導通不良を起こしている状態で、ウイング開閉作業をし続けると7芯ジャンパーケーブル内のアース線やカプラのアース線等が焼損する不具合が発生することがあります。(ラバーマウント式カプラ装着トラクタに発生し易い)。



### 2. ラバーマウント式カプラ

ラバーマウント式カプラとは、カプラベースが、ローリング及びピッチングを吸収する、上部ラバーと下部ラバーを介して取り付けられたブラケットがシャシフレームに締結される方式のカプラを言う。

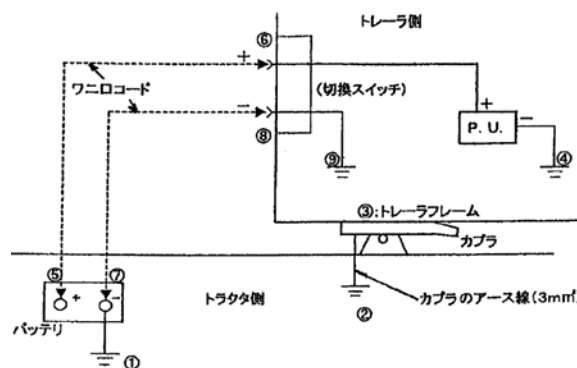


## 電源ケーブル接続にワニロクリップを使用した時の注意事項

### 3. アース線焼損の原因

ラバーマウント式カプラ装着トラクタは、カプラとシャシフレームが金属接触していないので、トレーラ側のボデーアースがカプラのアース線及び7芯ジャンパーケーブル内のアース線のみとなっている。

ウイング用パワーユニットのマイナス側配線が、ボデーアースとなっているのでワニロクリップ付ウイング羽根開閉用電源ケーブルのマイナス側（アース側）ワニロクリップを使用しなかったり、ワニロクリップのクランプが外れた状態でウイング羽根開閉操作を続けると、ウイング用パワーユニットの大電流（約 100A）が、カプラのアース線（3 mm<sup>2</sup>）やトラクタとトレーラ接続用電源ケーブル（7芯ジャンパーケーブル）内のアース線（1.25 mm<sup>2</sup>）に流れて各アース線が電流容量不足となり焼損する。

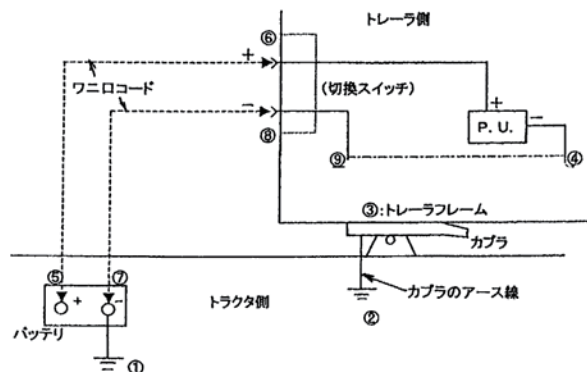


### 4. 対応策

ウイング用パワーユニットのマイナス側配線のボデーアース④及びワニロ付電源ケーブル用ボデーアース⑨を廃止し、④と⑨の配線（アース線）を接続する。

このことによりワニロクリップ付ウイング羽根開閉用電源ケーブル（アース線）⑦～⑧が結線（接続）されていなければパワーユニットが作動せず、ウイング羽根の開閉操作は出来ませんが、アース線焼損不具合は発生しません。

電源ケーブルを点検して電源ケーブルを確実にクランプしてから再度ウイング羽根開閉操作を実施して下さい。



※トレーラメーカー、トレーラ型式により改造工事内容は異なります。

又、既にボデーアースを廃止している車両もあります。

※改造するための改造費用、工期等については、各トレーラメーカーへ確認願います。